

## 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 平成 30 年 2 月 22 日（木）

午前 9 時 00 分 開会

午前 9 時 15 分 閉会

○ 場 所 第 2 常任委員会室

○ 出席委員（8名）

委員長	桃原 朗
委員	石川 慶
委員	伊佐 哲雄
委員	比嘉 憲康

副委員長	伊波 一男
委員	山城 康弘
委員	濱元 朝晴
委員	我如古 盛英

○ 欠席委員（2名）

委員	宮城 克
----	------

委員	桃原 功
----	------

○ 委員外議員（1名）

議員	知念 吉男
----	-------

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（1名）

議事係長	中村 誠
------	------

○ 協議案件

MV-22 オスプレイの部品落下事故について

# 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

平成 30 年 2 月 22 日（木）

○**桃原朗 委員長** ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前 9 時 00 分）

## 【協議事項】

### MV-22 オスプレイの部品落下事故について

○**桃原朗 委員長** 各会派の持ち帰り調整結果について報告いただきたい。

○**濱元朝晴 委員** 直接抗議すべき。

○**比嘉憲康 委員** 直接抗議すべき。

○**伊佐哲雄 委員** 同じである。

○**我如古盛英 委員** ぜひとも直接抗議すべきものと考えている。

○**桃原朗 委員長** 各委員の意見を踏まえ、直接抗議することとして進めてまいりたい。次に文案調整を進めてまいりたい。まず表題については「MV-22 オスプレイの部品落下事故に対する抗議決議」としてよいか。

（異議なし）

○**桃原朗 委員長** 記の部分の 1、2 についてはこれまで同様ではあるが、3 については、正副委員長で協議の上、これまでの「5 年以内（2019 年 2 月末まで）の運用停止」から一步踏み込んで「普天間基地の即時運用停止」としているが、それも含めて各委員の意見を伺いたい。

○**山城康弘 委員** 絆クラブとしてはこの表現でよいと考えている。

○**桃原朗 委員長** この文案のとおりでよいか。

（異議なし）

○**議会事務局** 今「普天間基地の即時運用停止」という文言を新たに組み込むことで決定したが、それに伴い、記の 1 の後段部分の「また、公表されるまでの間、普天間基地所属機の飛行を停止すること」が矛盾することになるため、同部分は削除することとしてよいか。

○**桃原朗 委員長** そのとおり進めてよいか。

（異議なし）

○**桃原朗 委員長** 次にあて先について、意見書は内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄基地負担軽減担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長、抗議決議は駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官、

在沖米国総領事としてよいか。

(異議なし)

○**桃原朗 委員長** 次に本会議への提出日については2月26日(月)でよいか。

(異議なし)

○**桃原朗 委員長** 次に要請日について各委員の意見を伺いたい。

○**伊波一男 委員** 日程的におくれていることも踏まえ、27日でアポ取りを進め、日程調整がつかない場合は28日ということで進めてはどうか。

○**桃原朗 委員長** そのとおりに進めることとしてよいか。

(異議なし)

○**桃原朗 委員長** 次に要請先について各委員の意見を伺いたい。

○**伊波一男 委員** 県内にある沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官、在沖米国総領事へは直接抗議すべきと考える。

○**桃原朗 委員長** 伊波委員の意見のとおり県内4カ所としてよいか。

(異議なし)

#### 【協議結果】

本件について以下のとおり決定(全会一致)した。

①件名：MV-22 オスプレイの部品落下事故に対する抗議決議及び意見書

②文案：確認したとおり

③あて先

抗議決議(駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官  
在沖米国総領事)

意見書(内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣  
沖縄基地負担軽減担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長)

④要請方法：第三海兵遠征軍司令官、在沖米国総領事、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長は直接要請するものとし、そのほかの機関は郵送とする。

---

○**桃原朗 委員長** 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻(午前9時15分)